

人 チーム 制度



在宅勤務制度（テレワーク）を活用した育児をしながらの働き方について

（株）東京設計事務所・馬場 未央さん

- ◎技術士（上下水道部門・水道環境/上水道及び工業水道）
- ◎技術士（総合管理部門・水道環境）

今回ご紹介するのは（株）東京設計事務所水道事業の業務に携わる馬場未央さんです。両親が遠方のため、家族と職場の協力のもと仕事と家庭を両立しています。

これまでの経歴を教えてください。

北海道大学大学院を卒業し、（株）東京設計事務所に入社後、東京支社に配属されて以来、ずっと水道に携わってきました。入社初期は水質の調査業務や、実験担当を任されていたが、現在はプロジェクトマネージャーを担当しており、計画業務が中心です。

現在の働き方を教えてください。

子どもが生まれて産休・育休を取得した後、職場復帰し、現在まで在宅勤務制度（テレワーク）を利用しています。子どもが2人（小3長男、保育園年長長女）いますが、子どもたちがまだ小さかった時は、テレワークが中心で、出社するのは週に1回程度にしてもらっていました。現在は、長女が保育園に上がったタイミングで週5出社に切り替えてもらい、基本的には9時30分～17時で勤務しています。また、子どもが急に病気にかかり、どうしても会社に出られない場合や、勤務時間内に仕事が片付かなかった時に、テレワークを活用しています。

家の仕事の分担は？

食事の支度と夕方の子どものお迎えは自分が、朝の送りは夫担当です。掃除・洗濯は両方で、長男は隔週で風呂掃除が玄関掃除、長女はご飯支度の時のテーブル拭き担当です。子どもが小さい時の育児は主に自分が担当でした。基本的に自分のことは自分でできるように、長男にはお弁当作りのスキル（おにぎり作りなど）も徐々に教えて身に付けさせています。

出張や繁忙期はどのように対応していますか？

共有カレンダー（アプリ）を活用しています。私と夫それぞれで、自分の予定を書き込み、それを見てスケジュールを調整しています。

今までで一番大変だったことは何ですか？

0才育児の時です。子どもが夜なかなか寝なくて、自分も寝不足のため体力的に厳しい時期で大変でした。また、2人目の子どもを出産するタイミングで、産休・育休中に技術士（総合管理部門）の資格を取得するための勉強を進めていたが、長男がまだ2歳で手のかかる時期でしたので、子育て中はあまりまとまった勉強時間が取れませんでした。そのため、勉強すべきことを合格者の体験記や参考書をもとに絞り込み、出勤日の通勤電車の中やテレワーク日の早朝等、子供などに邪魔をされない時間を勉強時間に割りあてました。勉強期間は実質的には願書を出してから数か月間だったと思います。試験は休日に1日かかりですので、その間子供を預ける人を確保するのが大変だったことも1回で合格を目指したいという強い動機になりました。

仕事と子育ての両立で一番助かったことは？

子どもが急に病気になった時などにはテレワーク制度はとても助かっています。ただし、テレワークの時は対面で職場の人とコミュニケーションできない分、メールや電話での連絡・返信はとにかくすぐに行くことを徹底しています。また、プロジェクトマネージャーになってから子どもを出産したことにより、自分でスケジュールを立てられることが仕事と家庭の両立につながっていると感じます。

今後の目標はありますか？

水道事業の再編に係る仕事をしていきたいと思っています。また、頼りになる後輩の育成に力を入れていきたいと考えています。

ある1日のスケジュール（テレワークの例）

6時30分	7時00分	7時30分	8時00分	9時00分	12時00分	13時00分	17時30分	18時00分	18時30分	19時30分	21時00分	深夜
起床	身支度・朝食準備など	子どもと夫を起こす	朝食	夫・子ども出発 掃除・片付けなどの家事	テレワーク開始 (資料作成等) ハンコンでの作業 打合せ メール・電話による 昼休憩	午後の作業開始	テレワーク終了	夕飯の買い物	子供のお迎え・ 夕飯の買い物	帰宅・夕食作り	長男の宿題確認 寝かしつけ	夫帰宅 勉強時間 プライベート時間